

長田中だより

令和8年7月17日

第6号

校長 藤田 明子

1学期最終号

1学期に架けた橋 ～これから架けたい橋～

人は何かにぶつかったとき、その「違い」を認識し、つい「避けたい」と思ってしまいます。しかしその「違い」は壁ではありません。勇気を出してその違いに一步近づき「違い」を相互に受け入れることで、自分とその先にある「壁」に橋を架けることができるのではないのでしょうか。

働く大人や大学の留学生と交流して、何か新しいことに挑戦する。仲間と意見を交わし、自分のよさや可能性を認識する。自分の意見をしっかり伝え、人の意見に広い心で耳を傾ける。違いを超えていきやすい社会を創る担い手になってほしい。そう願いながら、橋を架ける活動をしています。

★国際交流学習(全学年)

7月3日(金) 鎮西学院大学教授2名、そして留学生10名の皆様と国際交流を行いました。

はじめ：フラフープを班全員が指一本で持って動かします。息が合わないと・・・!(^)!



その後、12名くらいの班になり自分が考える「平和」について、自作のイラストをもとに語り合いました。まさに、ワールドカフェ



留学生さん10名と全校生徒と記念写真



これから架けたい橋

○自分のよさや可能性を気づくチャレンジ橋

○長田中学校生徒同士の

優しい言葉の架け橋

○長田小学校との友情の架け橋

○諫早市内外の活躍する大人との懸け橋

○ふるさとをPRする自慢の架け橋

長田のよさは何をおいても「人があたたかいこと」。長田中学校は小さい学校です。しかし、様々なことに挑戦すること、例えば、自分自身を高め、人のよさを認め、様々な人と交流を重ねること。これからもどんどん成長していきます。 **挑戦! 長田**